

# スマートシティモデル事業の採択について

～「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMART CITY～



スマートガーデンカントリー推進交通基盤部タスクフォース



## 国土交通省 PRESS RELEASE

3次元点群データを用いた  
仮想県土  
「VIRTUAL SHIZUOKA」  
と連携し、移動や災害対応  
の効率化、迅速化を実現  
(静岡県)

### スマートシティモデル事業 いよいよ始動 ～先行モデルプロジェクト等の選定～

国土交通省では、3月15日から4月24日まで、新技術や官民データを活用しつつ都市・地域課題を解決するスマートシティモデル事業の公募を実施したところ、73のコンソーシアムから提案をいただきました。

これを受けて、有識者の方々のご意見を伺い、事業の熟度が高く、全国の牽引役となる先駆的な取組を行う「先行モデルプロジェクト」を15事業、国が重点的に支援を実施することで事業の熟度を高め、早期の事業化を促進していく「重点事業化促進プロジェクト」を23事業、選定いたしました。

さらに、これら2つのプロジェクトを含め、今回のご提案のうち一定のレベルと意欲が確認できたコンソーシアムについては、「スマートシティ推進パートナー」としてともにスマートシティの進化を目指すこととし、関係府省で連携して支援していきます。

#### 【スマートシティの取組みへの支援】

##### ●先行モデルプロジェクト 15事業（別紙1）

スマートシティ実証調査予算を活用し、具体的な新しい取組みへの着手と事業の成果やボトルネック等の分析等を実施するとともに、さらにそれを広く共有することにより、全体の取組みを牽引するプロジェクトを支援します。

（事業内容の例）

- ・顔認証技術を活用しバスに乗るだけで病院受付が可能に（茨城県つくば市）
- ・観光地やイベントにおける人流データ分析、モビリティサービスの導入による地域活性化（東京都）

・3次元点群データを用いた仮想県土「VIRTUAL SHIZUOKA」と連携し、移動や災害対応の効率化、迅速化を実現（静岡県）

##### ●重点事業化促進プロジェクト 23事業（別紙2）

専門家の派遣や計画策定支援等により、早期の事業実施を目指して重点的に支援を行います。

##### ●スマートシティ推進パートナー 71団体（別紙3）

今回のご提案のうち一定のレベルと意欲が確認できたコンソーシアムについて、ともにスマートシティの進化を目指すこととし、今後、内閣府、総務省と共同で立ち上げを検討している官民連携のプラットフォームにも参画いただいで、関係府省で連携して支援を行います。

#### 【スマートシティ推進フォーラムの開催】

●スマートシティの取組みの加速化と気運の醸成を図るため、日本経済団体連合会、内閣府、総務省との共催により「スマートシティ推進フォーラム～Society5.0時代の都市・地域づくりへ～」を6月4日に開催します。（詳細については別紙4をご参照ください。）

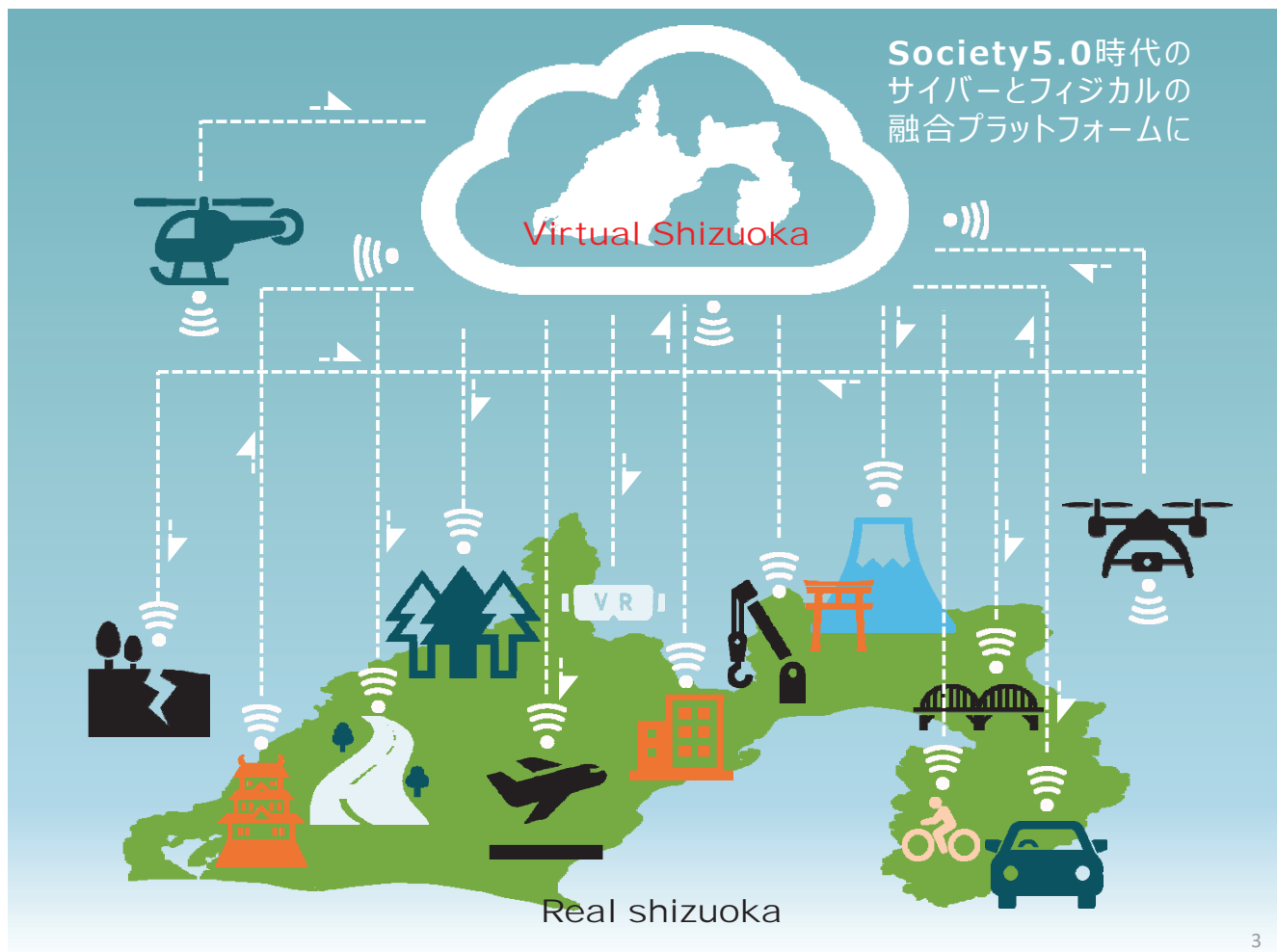
#### 【問い合わせ先】

国土交通省 スマートシティプロジェクトチーム事務局\*

越智、高峯、酒井（内線 32671, 32672）

電話：03-5253-8111 直通：03-5253-8411 FAX：03-5253-1590

\* 電話、FAXは国土交通省都市局都市計画課によります。



### 事業の推進体制

企業・自治体	役割
ソフトバンク	通信(5G)・共通基盤(クラウド) 生活支援システム・UXデザイン
COCN(産業競争力懇談会) (パスコ、三菱電機、三菱総研)	3次元位置情報・インフラ維持管理
ダイナミックマップ基盤	高精度3次元地図作成
JR東日本(打診中)	運行データ・サイネージ提供
東急電鉄	MaaSアプリケーション・観光振興
タジマEV	自動運転車両
ナイトレイ	人流データ分析
下田市・熱海市	行政課題、地元調整
静岡県	事務局

# 「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMART CITYコンソーシアム

## 【地方公共団体・静岡県 民間事業者等代表：ソフトバンク株式会社】

- 人口減少・高齢化の進行が著しく、地元産業の担い手不足、流通・交通サービスの衰退、急峻な地形による脆弱な公共交通網、災害時の交通インフラの分断の懸念等への対応が課題。
- 3次元点群データを活用してサイバー空間に仮想3次元県土「VIRTUAL SHIZUOKA」を構築し、各種コンテンツと連携、利活用を促進することで、自動運転などの新技術による社会的課題の解決、誰もが安全・安心で利便性が高く快適でスマートな循環型の地域づくりを目指す。

### ◆対象区域



### ◆新技術・データを活用した都市・地域の課題解決の取組

#### 自動運転車による観光客の移動支援

・オープンデータ化した3次元点群データからダイナミックマップを作成し、自動運転化したデマンドタクシーによる観光客の移動支援の実証実験



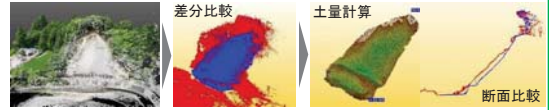
#### 伊豆観光型MaaSとの連携

・観光客の利便性向上、防災対策のため、交通事業者の運行情報や緊急災害情報をデジタルサイネージ・MaaSアプリで提供



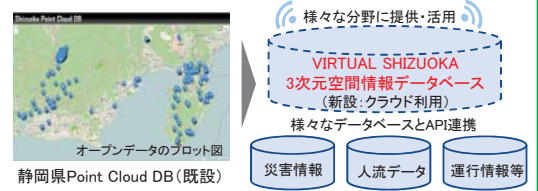
#### 災害対応の迅速化・インフラ維持管理

・道路、河川等インフラ施設の3次元点群データの差分により経年変化を把握し、維持管理に活用  
 ・災害対応の迅速化のため、面的に3次元点群データを取得。被災前後の差分により速やかな情報把握と復旧活動に活用



#### 3次元空間情報データベース「VIRTUAL SHIZUOKA」

・全国に先駆けて3次元点群データの取得・蓄積により3次元空間情報データベース(Point Cloud DB)を構築  
 ・官民の様々なデータ(位置、災害、交通、インフラ、人流等)と連携し、様々な分野での利活用を図る



### ◆事業実施体制

企業・自治体	役割
ソフトバンク	通信(5G)・共通基盤(クラウド)システム・UXデザイン
COCN (I/O、三菱電機、三菱総研)	3次元位置情報・インフラ維持管理
ダイナミックマップ基盤	自動走行用高精度3次元地図
東急電鉄	MaaS連携・観光振興
タジマEV	自動運転車両
ナイトレイ	人流データ分析
下田市・熱海市	行政課題、地元調整
静岡県	事務局

### ◆2019年度の主な取組

- ・下田エリアにおける観光型MaaSの実施・継続
- ・下田エリアにおいて、デマンドタクシーの自動運転実証実験